

2026年(令和8年)
第888号

編集及び発行人:
東京土建一般労働組合
杉並支部

杉並区高円寺南3-6-2
TEL(3313)1445
FAX(3313)7096
メール doken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp

定価1部50円(購読料は組合費に含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します

すぎなみ

あけまして
おめでとうございます

新年の業務開始と休館

1月5日(月)の業務受付は12時まで(午後は書記局四役合同会議のため閉館)、6日(火)より通常業務となります。

2月3日(火)は書記局会議のため終日閉館となります。

※土・日・祝日も閉館

11.28賃金・単価UPシンポジウム

賃金・単価UPの春が来た



司会
吉田
担当四役

11月28日に「賃金・単価UPシンポジウム」を杉並支部として初めて開催しました。私たちが取り組んだ「100万人国会請願署名」により、担い手3法の改正が実現しました。この改正により、著しく低い労務費を請求することも受注することも禁止となります。

パネリストからはそれぞれ自分の経験をもとに貴重な発言がありました。シンポジウムの内容を抜粋・報告します(文責・双木)。

冒頭、鎗田委員長より「我々には技術がある。その技術を安売りせず、まっとうな生活ができる賃金をもたらえるような環境づくりが必要」とあいさつがありました。

続いて、本部賃金担当の國武書記より「第三次担い手3法と見積書の関係」について詳細な説明

- 今村PAL会長(以下今村)：消防設備工事業をしています。
- 藤井賃金部長(以下藤井)：主にテナントの内装工事をしていきます。ゼネコンの監督をしていた時期もあります。
- 栗林副委員長(以下栗林)：特殊防水工事を

- 今村PAL会長(以下今村)：独立して25年。20年くらいは(単価について)色々言い続け
- 吉田：以上が、いつもPALや部会でお金の話をしているメンバーです(笑)。では、具体的な見積・請求の話を聞かせてください。
- 安川分会賃金部長(以下安川)：私のところも止水・防水工事をおこなっています。

- 吉田：以上が、いつもPALや部会でお金の話をしているメンバーです(笑)。では、具体的な見積・請求の話を聞かせてください。
- 安川分会賃金部長(以下安川)：私のところも止水・防水工事をおこなっています。
- 藤井：設計労務単価以上は素晴らしいです。賃金(職人の給料)と単価(給料+経費)の違いはよく見ていかなければ。歩掛(※ぶがかり)ひとつの作業にかかる手間を数値化したものは職種によっても違うし、夏と冬の作業効率も違います。

- 今村：上位企業には嫌われるけど、私は関わった協力業者や従業員には適正な賃金を支払いたいと思っています。それに経費を乗せないと、会社は回りません。
- 藤井：職人に支払う賃金は削つてはいけません。業法改正は町場・野丁場関係なく、これから示される「標準労務費(12月12日公表)」が守れるように経営していきましょう。

- 吉田：お金の話はつきないですね(笑)。いい仕事があったら、きちんとした見積で
- 栗林：私たちが今ここですべきことは、上位企業に「単価を上げてくれ」と勇気と理屈をもって要求することです。
- 今村：PAL会長(以下今村)：独立して25年。20年くらいは(単価について)色々言い続け

- 今村：PAL会長(以下今村)：独立して25年。20年くらいは(単価について)色々言い続け
- 藤井：職人に支払う賃金は削つてはいけません。業法改正は町場・野丁場関係なく、これから示される「標準労務費(12月12日公表)」が守れるように経営していきましょう。
- 吉田：お金の話はつきないですね(笑)。いい仕事があったら、きちんとした見積で

パネリストのみなさん



単価の引上げ訴え 対等に話ができるように

【小橋 隆宏 賃金部員】私は型枠大工で、2次下請けで野丁場に従事しています。現場所長に材料費も上がり、単価の引き上げを迫りましたが、仕事を断られるハメに…。

1ヶ月後、他現場に従事していると、単価を引き上げるので戻ってきてほしいと連絡が。単価が上がったのも嬉しかったのですが、所長と対等に話ができるようになったのが、何より嬉しいです。

歩掛は、自分でしっかり作っていく必要があります。

●栗林：人工の歩掛は、

●今村：PAL会長(以下今村)：独立して25年。20年くらいは(単価について)色々言い続け

●藤井：職人に支払う賃金は削つてはいけません。業法改正は町場・野丁場関係なく、これから示される「標準労務費(12月12日公表)」が守れるように経営していきましょう。

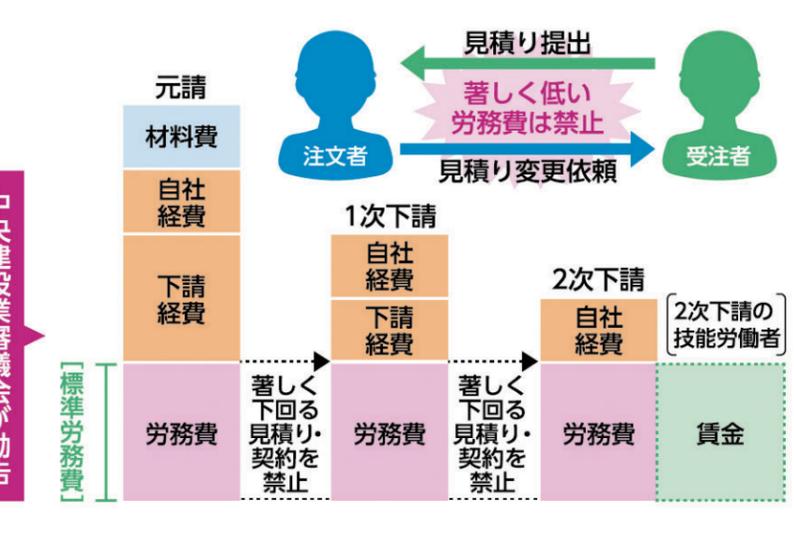
●吉田：お金の話はつきないですね(笑)。いい仕事があったら、きちんとした見積で

現場によって少し変わりますが、基本データは蓄積しています。設計労務単価を基準に、ここからウチの技術力でどれだけ上乗せできるか。従業員に払うためにも。当たり前の話です。自分たちの技術力を安売りする気持ちなんてありません。

●今村：PAL会長(以下今村)：独立して25年。20年くらいは(単価について)色々言い続け

●藤井：職人に支払う賃金は削つてはいけません。業法改正は町場・野丁場関係なく、これから示される「標準労務費(12月12日公表)」が守れるように経営していきましょう。

●吉田：お金の話はつきないですね(笑)。いい仕事があったら、きちんとした見積で



支部のホームページはこちら

<https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html>

東京土建杉並支部 検索

●縫村書記長：私たちは建設従事者の地位向上のために運動しています。このような自信につながる学習から確信をもって交渉すれば、私たちの未来は明るいのではないかと思います。今後とも一緒に運動を盛り上げていきましょう。

納得してもらったことが大事ですね。それでは最後に縫村書記長より、まとめをお願いします。

建築物は幾種もの磨かれた職人の技で築く



鎗田 登美雄 執行委員長 新年の抱負について

新年明けましておめでとうございます。日頃より、組合活動へのご理解ご協力に、改めて感謝申し上げます。

昨年は、物価高騰の中、私たちの生活は、より一層厳しい状況が続きました。その中には3割近くも値上げした物もあり、気候変動による猛暑や海水温の上昇で農作物や海産物の収穫・捕獲が減少したことも影響しているようです。

「令和の米騒動」と言われる米不足問題では、政府は備蓄米を放出。スーパーに「古米・古古米・古古古米」が並び、政府の農業政策の歪みを垣間見た気がします。

物価高に賃金の上昇は追いつかず、私たちは実質賃金が目減りしていると感じています。一昨年に取り組んだ「100万人国会請願署名」の運動成果により担い手3法が改正され、昨年12月には「標準労務費」が決定、まっとうな労務費を請求・要求できる環境が整いつつあります。

標準労務費を公契約条例に生かし、建設キャリアアップシステムを発展・運用し、建設労働者の地位を向上させましょう。

人は誰しも健康を願って止みません。病気やケガをした時、安心して医療にかかることができ、最低限の生活は保障されるべきです。先人達が築き上げてきた「建設国保」の育成・強化は絶対に必要です。軍費はすぐに予算化され上げますが、社会保障費

は削られる一方です。これは憲法25条「生存権」の理念に逆行しています。子育て支援策だけでなく、この日本を築き上げてきた年金受給者にも十分な保障をおこなうべきです。

昨年は八丈島を2度台風が襲い、大分でも大火災が発生。建設に携わる我々には目を覆いたくなる災害が続きました。また、東日本大震災や能登半島地震など災害に対する復興には課題が山積みしています。

南海トラフ地震や首都直下型地震の発生も危惧されており、災害備蓄品の備えのほか、地震直後の2次火災に対する心構えも必要です。杉並支部の災害対策組織「まちの救助隊ヒーローズ」に登録して、学習活動を旺盛におこなっていきましょう。

近年、組織人員が全般的に減少傾向にあります。杉並支部でも組織3,000人を維持すべく役員一同奮闘しています。建築物は一人では完成しません。幾種もの磨かれた職人の技で築かれます。杉並支部にも多種多様な職人がいます。みんなの力で組織を守りましょう。

組合は、身近な生活問題から平和運動まで多岐にわたる「何かあったら組合へ」が言葉です。未加入者へお声掛けいただくことが仲間づくりの第一歩。あなたも組合活動に参加してみませんか。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

杉並支部2025年の活動を振り返って

仲間の結びつき強化をめざす

2025年の大きな出来事

- 1月 アメリカでトランプ政権が発足 埼玉・八潮で道路陥没、トラックが転落
- 2月 岩手県大船渡市で山林火災
- 3月 東日本大震災14年 マイナ保険証が運用スタート
- 4月 大阪・関西万博開幕
- 5月 備蓄米20万トン放出開始
- 6月 都議選自民、歴史的惨敗 = 都民ファ第1党
- 7月 自公大敗、過半数割れ = 参院選
- 8月 広島・長崎原爆の日80回目
- 9月 石破首相、退陣表明 杉並区擁壁崩壊が全国ニュースに
- 10月 高市内閣が発足 = 第104代、初の女性首相 自維が連立政権樹立で合意
- 11月 警察官によるクマ駆除任務開始
- 12月 従来の健康保険証が有効期限切れに

1月 新春旗ひらき 防災学習会

昨年1月、杉並支部は3,039人の当初人員でスタート。21日には杉並区防災課より講師を招き「防災学習会」を開催。震災への備えの重要性を学習。

3月 防災協定締結式 杉並区長懇談

26日に杉並区、杉並・荻窪消防署と防災協定を締結。同日に杉並区長懇談。地元建設業者の確保が必要など認識が一致。

5月 第96回メーデー 都議会議員懇談

1日の第96回メーデーは、代々木公園を会場に開催(全体12,000人・杉並47人)。青年部製作デコレーション「石破カビゴン」目覚めるニッポンは「奨励賞」を受賞。

7月 新加入者歓迎会 平和行進&ごっこ

1日に全体44人(新加入者6分会14人・事業所から6社参加)の参加で上半期新加入者歓迎会を開催。組合制度説明のあと分会組織部長より新加入者を紹介し、交流を深める。

9月 防災学習会 組合員交流会

1日には防災学習会を開催。墨田支部ハインマーズより講師を招き、災害時の対応をクイズ形式にした「ハンマーズクエスト」で学習。ヒーローズの活動報告もおこなう。

12月 安全衛生大会 子ども食堂

1日に下半期新加入者歓迎会を開催(全体37人うち新加入者11人)。19日の安全衛生大会では、作業療法士より「心の健康・日頃の備え」を学習(19人)。20日に子ども食堂を初めて開催(来場者含め60人参加)。カレー・サラダ・唐あげ・ケーキなどをふるまう。

2月 杉並区環境課 省エネ制度説明会

20日に30人の参加で開催。杉並区の省エネ制度申請は、工事後に1度の申請だけに変更されたため、利用しやすくなる。

4月 第76回支部大会 新年度役員学習会

6日に支部会館において、第76回支部定期大会を開催(141人)。今年度の方針・予算・役員選出を確認。

6月 第48回住宅デー 税金学習会

7分会(西荻分会は7月20日)がそれぞれ住宅デーを開催。各会場とも工作教室・住宅相談などをおこない、東京土建を地域にアピール。

8月 政策懇談会 普通救命講習

19日と22日の区議会政策懇談会では、建設業を地域振興策に位置づけること・現行保険証の復活・現場賃金調査への同行などを要望。

10月 事業所交流会 秋の拡大月間

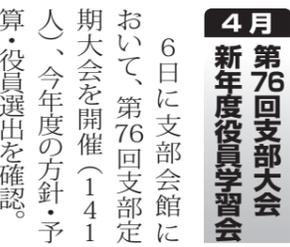
26日に金沢八景にて「事業所交流キス釣り大会」を開催。併設の食堂で釣ったのキスを食べながら和やかに交流(7社14人うち初参加2社)。

11月 第23回東京土建まつり 復興支援活動

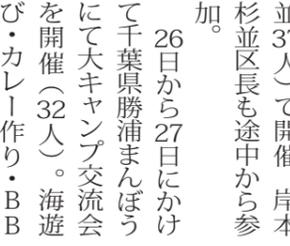
1日から2日にかけて福島県南相馬市にて支援活動(全体15人・杉並9人)。民宿敷地の伐採・剪定、草刈り作業をおこなう。



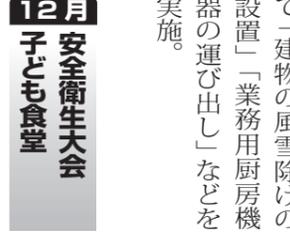
杉並区と防災協定締結



杉並区と防災協定締結



前期新加入者説明会



福島県南相馬市復興支援



募集

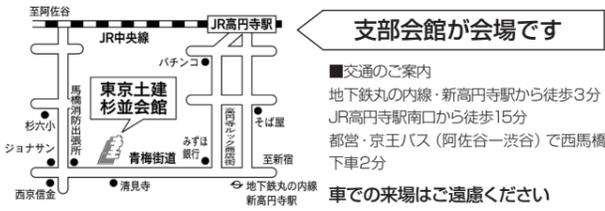
- **現場管理** ■
(株)弥生工務店
代表 児玉 達朗
杉並区和田3-50-3
パークサイドテラスコタマ
Tel.090-2658-4844
- **外構造園作業スタッフ** ■
グリーンスペース計画(株)
代表 益田 陽介
杉並区下井草3-20-11-105
メゾンヴェルトⅢ
Tel.080-1074-4655
- **電気工事士** ■
【社員】
リケンエンジニア(有)
代表 縫村 俊祐
杉並区浜田山1-23-7
Tel.03-3290-0122
- **配管工** ■
【社員】
斎喜工業(株)
代表 一乃 松二
杉並区大宮1-12-13
Tel.03-5929-9170
- **測量士・測量士補** ■
【社員・アルバイト】
リーベン開発設計(株)
代表 古地 孝博
杉並区阿佐谷南3-31-14
Tel.03-3392-4735
- **塗装・防水・電気・営業** ■
【社員】
(株)しんせん
代表 小笠原 健悦
杉並区堀ノ内3-49-7
横尾ビル1F
Tel.03-3311-2196
- **給排水** ■
【社員】
(株)なつ&にゃお
代表 廣瀬 裕樹
杉並区下高井戸4-35-27
Tel.080-8824-1119
- **外構・基礎** ■
【社員】
(株)山根ベース
代表 山根 真
杉並区宮前5-18-11
グリーンパレスA201
Tel.090-6100-8859
- **造園工** ■
(株)ネクストグリーン
代表 堀内 幸雄
杉並区堀ノ内2-7-7-101
Tel.03-6677-7168

掲載は無料です
どうぞご利用
ください



税金講習会の日程

- 【初めて申告の方】
●1月26日(月)13時30分～
 - 【給与所得者】
●1月27日(火)19時～
 - 【一人親方・事業主】
●1月28日(水)19時～ ●1月29日(木)19時～
●1月30日(金)19時～
- ※対象の日に都合がつかない方もいずれか1日にご参加ください



講習会受講後の個別相談の日程

税金講習会を受講した方が対象です。今回も対面式による相談会はおこなわず、下記の期間中に「確定申告関係書類」を支部事務所まで提出をお願いします(郵送可)。書類の点検が終わりましたら、税金講習会で記入いただいた電話番号にご連絡いたします。

書類提出期間 2月13日(金)～2月24日(火)

25年新春旗び



2026年杉並支部 新春旗びらき

杉並支部会館で平日夜間に開催します。組合員本人だけでなくご家族にも参加いただき、多くの仲間の参加で新年の飛躍を誓い合いましょ。

【日時】 1月23日(金) 19時
【場所】 杉並支部会館3階
【会費】 1,000円

※新永年組合員・今年度新加入者は無料(個別でご案内いたします)
※参加希望者は分会役員が支部までご連絡をお願いします

新年の飛躍を誓い合いましょ

25年度税制改正 所得税の変更点

今年度の税制改正による所得税の主な変更点は、次の3点です。これらの改正は、今年3月の確定申告(25年分)から適用されます。変更点をおさえて、確定申告に備えましょう。

① **基礎控除の見直し**
2025年分の所得税から、基礎控除が現行4段階(0円～48万円)から9段階(0円～95万円)に合計所得「0」となります。

② **給与所得控除の見直し**
給与所得控除の最低保証額が55万円から65万円に引き上げられました。よって、給与所得控除65万円が基礎控除が58万円となったため、給与収入123万円までは課税所得が「0」となります。

③ **特定親族特別控除の創設**
同一生計で19歳以上23歳未満の子(特定扶養親族)の年収が103万円を超えると扶養控除額は「0」となっています。したが、次の表のとおり特定扶養親族の給与収入が150万円までは控除(63万円)が全額受けられるようになります。一方、学生の本分である学業との両立が難しくなるとの声も上がっています。

基礎控除額

合計所得金額	基礎控除額		改正前
	改正後		
	令和7・8年分	令和9年分以降	
132万円以下	95万円		48万円
132万円超～336万円以下	88万円	58万円	
336万円超～489万円以下	68万円		
489万円超～655万円以下	63万円		
655万円超～2,350万円以下	58万円		
2,350万円超～2,400万円以下	48万円	48万円	48万円
2,400万円超～2,450万円以下	32万円	32万円	32万円
2,450万円超～2,500万円以下	16万円	16万円	16万円
2,500万円超	0円	0円	0円

特定扶養親族特別控除額

給与収入		特定親族の合計所得金額		所得税	住民税
123万円超	150万円以下	58万円超	85万円以下	63万円	45万円
150万円超	155万円以下	85万円超	90万円以下	61万円	
155万円超	160万円以下	90万円超	95万円以下	51万円	
160万円超	165万円以下	95万円超	100万円以下	41万円	41万円
165万円超	170万円以下	100万円超	105万円以下	31万円	31万円
170万円超	175万円以下	105万円超	110万円以下	21万円	21万円
175万円超	180万円以下	110万円超	115万円以下	11万円	11万円
180万円超	185万円以下	115万円超	120万円以下	6万円	6万円
185万円超	188万円以下	120万円超	123万円以下	3万円	3万円

令和7年度杉並区技能功労者表彰式



杉並支部から2人受賞

昨年12月11日に杉並区役所において、杉並区技能功労者の表彰式がおこなわれ、末柄哲吾さん(中央・とび・当日は欠席)・浅野真治さん(泉南・石工)が表彰されました。この賞は、杉並区において永年同一の職業に従事し、技能の練磨及び後進の指導育成に務めた方々を表彰しています。昭和52年に開始以来49年目、1,339人が表彰されました。本年度は11団体からの推薦があり、審査会による厳正な審査の結果、13人の受賞者が決定しました。



参加者の声

【慎利江さん・談】バス旅行への参加は2回目でした。カップヌードルミュージアムは初めてで、チキンラーメンが出来上がるまでの行程が良くわかりました。楽しく1日を過ごすことができ、ありがとうございました。



快晴の
にぎやか
バス旅行に
大満足

11月30日 井荻分会バス旅行



チキンラーメン手作り工房で説明を受ける

【井荻分会・発】井荻分会は一日バス旅行を開催しました(参加29人)。横浜マリントワーに登り、中華街「重慶飯店」にて昼食、そのあとカップヌードルミュージアムを見学しました。小麦粉をこね、のびし、乾燥させて作る袋麺作りには参加者全員興味深々。初参加含む家族での参加が多く、にぎやかなバス旅行になりました。

TOKYO DOKEN SUGINAMI 東京土建杉並支部

杉並支部は 行政・地域と共に 発展をめざします

東京土建杉並支部窓口2階で

第23回
東京土建
まつり



中央分会
住宅デー



支部会館
屋上BBQ

建設アスベスト訴訟のたたかい

建材メーカーと歴史的和解

建設現場でアスベスト(石綿)を吸って健康被害を受けた元労働者・遺族が損害賠償を求めた二つの訴訟は8月7日、東京高裁で建材メーカー17社と和解が成立しました。このうち主要メーカー7社が原告400人に対し、約52億円の和解金を支払い、謝罪するという内容です。複数建材メーカーと原告の和解は初めてであり、今後の全国の訴訟に大きく影響し、早期和解解決が早まると思われる。

建設アスベスト訴訟は2008年5月に第1陣が提訴し、そのあと全国各地で訴訟が続きました。最高裁は、第1陣など4訴訟について、2021年5月に国と一部建材メーカーの賠償責任を認める統一判断を示し、建材メーカーの責任については、高裁に差し戻していました。

建設アスベスト訴訟は戻し審と、第2陣の控訴審の二つの訴訟でそれぞれ和解が成立。被告となったメーカー17社のうち、太平洋セメントやニチアスなどが、アスベストの危険性に関する警告を表示しなかった責任を認め謝罪しました。

一部対象外の不当判決

主要メーカー初めて謝罪

この日は第1陣の差

被害者単位では1陣で285人のうち234人、2陣では112人のうち98人の原告と和解成立しましたが、改修・解体作業と屋外作業の原告は和解対象にならず、東京高裁にて今後、判決が言い渡されます。

発症まで数十年早期解決が望まれる

アスベスト被害は「静かな時限爆弾」とも呼ばれ、吸い込んでから発症まで数十年はかかります。そして発症後に亡くなる例が多

く、第1陣原告285人のうちすでに261人が亡くなっていることから早期解決が望まれていました。

建材メーカー側は、どのメーカーがどの現場で扱った建材の中のアスベストが含まれていたか特定が困難なことなどを盾に取り、メーカーの責任を認めない判決が確定するまで賠償金を支払わない姿勢を貫いてきました。

東京高裁の和解案

こうした中、東京高裁が1千ページを超える和解案をまとめ、メーカーの責任範囲が示されたことで、今回の歴史的勝利和解につながりました。

2陣原告団共同代表の吉田重男さんのご遺族(弟)は「裁判官がメーカーに初めて正面から謝罪しろと言ってくれた」と語りました。

健診受診で早期発見

東京土建国保の健診で撮影した「胸部レントゲン」(40才以上)は、健診を受けた病院に加えて職業病専門医が再読影をおこない、早期発見に務めています。定期的な健診を心がけましょう。

岸本区長と





災害対策分野の前進

地域との連携強まる

防災協定の締結

昨年3月26日に悲願だった防災協定を杉並・荻窪消防署と締結しました。正式には「大規模災害発生時における消防活動の支援に関する協定」といいます。

防災協定の内容は、①資機材(工具等)の提供、②車両(軽乗用車等)の提供、③後方支援活動(瓦礫や倒木等の除去、災害状況の情

震災救援所 資機材取扱訓練

杉並支部の自主防災組織「まちの救助隊」は、震災救援所(杉並区)における避難所のことです。区内65ヶ所ある震災救援所には防災倉庫があり、備蓄品のほか災害用資機材が常備されています。ビークラスは、災害用資機材の掛け矢やツルハシ、とび

の使い方について、参加者に指導をおこなってきました。

報収集等)、④救助活動、強化していく中で、今年「震災救援所(杉並区)における避難所のこと」で技術指導が活発化しました。

建設業をはじめたら、

消防署救助訓練 解体家屋の提供

荻窪消防署より、人命救助訓練で使用する解体予定の家屋を提供

してくれないか、と打診があり、(株)不二榮の森田さん(井荻)の所有する木造家屋の解体工事現場で人命救助訓練がおこなわれました。訓練内容は、カギ(クレーセント錠)の解錠訓練・玄関ドアチェーンの開け方訓練・残火処理のための天井開口です。今後はビークラスとの合同訓練も視野に入れ、消防署との連携を強化していきます。

防災学習会

9月1日「防災の日」に合わせて、防災学習会を開催しました(参加者46人)。今回は、全都でも活発な防災活動をおこなっている墨田支部自主防災組織「ハンマーズ」の具体的な活動を報告いただき、続いて杉並支部まちの救助隊「ビークラス」の活動を提案しました。

東京防災セミナー

11月26日に「木造住宅密集地域の備え」をテーマに講師を招き、東京防災学習セミナーを開催しました。

普通救命講習

8月24日、支部会館を会場に普通救命講習を実施しました(23人受講)。スライドを使用した講習とグループを作り「胸骨圧迫(心臓マッサージ)」「AEDの使用」方法を学びました。事業所から外国人技能実習生の参加もあり、真剣に受講していました。

講義では地図を使い、杉並支部周辺の火災危険度・倒壊危険度について説明。事前の備えについては「東京都防災アプリ」の中で家族構成を入力すると、3日分の備蓄品の数が出てくるので、ぜひ活用してください、と説明がありました。

2025年主な災害対策活動

- 6月3日 荻窪消防署人命救助訓練「解体家屋の提供」
- 8月24日 普通救命講習
- 9月1日 防災学習会
- 9月27日 杉六小震災救援所訓練
- 10月18日 松ノ木小震災救援所訓練
- 10月18日・19日 防災士試験合格(縫村書記長・藤澤書記次長) 防災士合計9人
- 11月23日 和田五町会震災訓練
- 11月26日 東京防災セミナー
- 12月7日 桃三小震災救援所訓練
- 12月13日 杉十小防災倉庫訓練

松ノ木小訓練「油圧ジャッキの使い方」



現場賃金調査



毎月、賃金労働対策部とPALでは、公共工事現場で賃金調査をおこなっています。杉並区公契約条例により、設計労務単価の90%が賃金最低下限額ですが、賃金調査結果によると下限額を下回っています。

このような実態を区長懇談や区議会派懇談で話題にし、区議会で取り上げてもらうなど改善を図っています。

最近では、私たちの呼びかけで、区の職員や区議会議員が賃金調査に同行するようになりました。

まちづくりセンター

区民の住まいの相談窓口である「杉並支部まちづくりセンター」には現在、227業者が登録しています。

杉並区とは「家具転倒防止器具」「感震ブレーカー」の取付業務委託を結んでおり、昨年の取付実績はそれぞれ50件、600件となっています。

杉並区役所1階ロビーと支部別館1階では、無料増改築相談をおこなっており、昨年の相談件数は156件、施工金額は1,133万円でした。

子ども食堂

後継者対策部・ひまわりの協力のもと、「子ども食堂」を初開催しました。

詳細は6面に掲載しています。



杉二小 授業支援



杉並 フェスタ



能登半島地震復興支援活動

他人事と思わず身近な人に伝えて

11月28日から30日にかけて、石川県輪島市にて復興支援活動をおこないました。能登半島自身から20年が経過しようとしていますが、道路の陥没はあちこちに見られ、倒壊した家屋は放置されたままです。復興支援活動には杉並のほか、東京土建本部や各支部(北・練馬・渋谷・目黒など)、神奈川県連など全体で26人が参加しました。その内容を紹介します(文責・双木)。



雨雪除けを設置



厨房機器の搬入

浸水したもとやスーパー

11月28日の朝、羽田空港を離陸し、のと里山空港に到着した杉並支部のメンバーは、レンタカーを借りて、輪島市町野町(まちのまち)にある「もとやスーパー」へ向かいま

した。もとやスーパーは「復興ソング」を作曲した田中菜穂さん(トモダチプロジェクト)として土建まつりに出演)の紹介です。もとやスーパー営業本部課長の本谷悠樹さんは「もとやスーパーは、能登半島地震後も周辺で唯一建物が残り、地域の住民に自社製造の惣菜などを販売してきた地域にある唯一のスーパーです。昨年9月21日に発生

した線状降水帯による大雨で水位が2M近くまで上がり、全てが流されました。しかし、全国からの支援により復活し、昨年11月に再度オープン。宿泊施設のあるスーパーの建設をめざして準備をしています」と話しました。

そのあと、全国木造建設事業協会が建設した仮設住宅、輪島市朝市を襲った大火跡を視察し、能登町にある宿泊施設「漁火ユースホテル」に向かいました。夜は同じく宿泊する目黒支部と交流を深めました。



宿泊施設を併設予定のもとやスーパー

輪島市朝市跡 来年春季から建物着工予定



参加した杉並支部のメンバー

能登半島地震概要

2024年1月1日16時10分
M7.6(最大震度7) 石川県能登地方
震度7: 志賀町、輪島市
死者: 659人(うち災害関連死: 431人)
負傷者: 1,275人
全壊: 6,167棟 半壊: 18,723棟
一部破損: 91,510棟

被害の特徴

- 【令和6年能登半島地震】
 - 能登半島(奥能登地方)全体が被害
 - 半島という立地でアクセスが悪い
- 【東日本大震災】
 - 千葉から青森までの沿岸500km
 - 山間部は被災していない
- 【熊本地震】
 - 九州の中心に位置、九州各地から支援が入る

災害NGO結ボランティアセンター

翌日は、もとやスーパー裏にある「災害NGO結(ゆい)」のボランティアセンターに向かい、代表である前原さんから作業内容の説明を受けました。

「高齢者の割合が高く、



放置されたままの住宅

【もとやスーパー代表 本谷一知さん】能登半島地震では無事だった「もとやスーパー」も2024年9月21日の豪雨災害で高さ約2mの浸水に見舞われ「車9台・商品・金庫・通帳」全てが流されました。

しかし、全国のみなさんの暖かい支援のおかげで、2024年11月30日に復活オープンすることができました。今後は、地域復興の拠点として、宿泊施設を併設するスーパーを建設していく予定です。



【もとやスーパー営業本部課長 本谷悠樹さん】昨年9月の豪雨災害のあとに実家に戻ってきました。町野町の人口は2,000人以上でしたが、現在の人口は約1,500人と減少しています。見ての通り、このあたりは何も商業施設がありません。もとやスーパーを宿泊施設を備えた地域のランドマークとしていきたいです。クラウドファンディングにも、ぜひ協力をお願いします。

トモダチプロジェクトの田中菜穂さんとは「もとやスーパー」復興ソングを作っていた縁で知り合いました。とにかくみなさんが能登に来てくれるのがうれしいです。

【災害NGO結 代表 前原土武さん】被災した方々は災害初心者です。被災当初は何をどのように片付けたらいいかわからないので、私たちが手助けします。

そのあと助かったモノ(命・財産・地域・産業)を救い、寄り添い、支援します。被災者自身が自立することが大事。やりすぎない支援をおこない、5年をめどに被災地・被災者を卒業することが目標です。



子ども食堂初開催

おいしい食事に笑顔あふれる



12月20日に杉並支部会館を会場に後継者対策部・ひまわりの協力のもと、会保障対策部主催「子ども食堂」を初開催しました。カレー・唐あげ・ケーキなどを用意した家族に提供、笑顔があふれました。



若者が少ない土地柄」と、前原さんは話します。「人がいないからボランティアを受け入れる宿泊施設も少ない。このことが支援活動の遅れの原因になっています。また、地元の大工さんや設備屋さんなど業者が少ないことが復旧の難しさにつながっています。本日もなさんにおこなっていただきたいのは、仮設商店の軒の雨雪除けと仮設商店街で使用する業務用厨房機器の運び出しなどです」と説明がありました。

雨雪除けは、単管と木材を番線縛るやり方で、何度もおこなううちにコツを掴んだ仲間も。お昼は、地元のお母さん達が作ってくれたごはんをこそうになり、15時過ぎまで作業を続けました。最後に前原代表は「餅は餅屋だと思っています。みなさんのスキルのおかげで作業がかなり進みました。災害が起きた時、まずは自分の命を守る。守って初めて人助けのために動くことができます。みなさん能登のことを他人事と思わず、身近な人に能登のことを伝えてほしいです」と話しました。

翌朝飛行機で7人は無事帰宅。要請がある限り、復興支援活動は継続していきます。

クロスワードパズル ④ (2026年1月末締切)

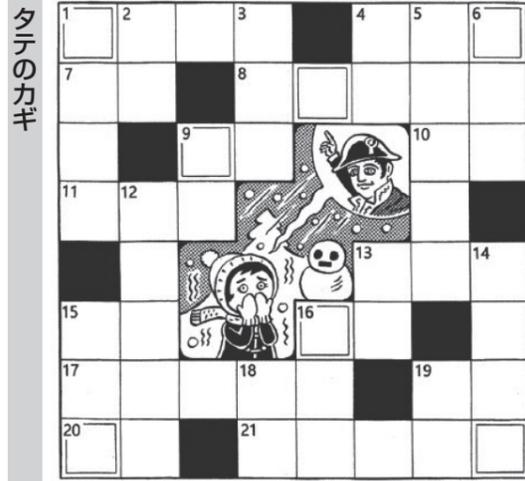
ヨコのカギ

- 1 2・4・6・8・10
- 4 紙幣の偽造防止技術の一つ
- 7 無駄。損失
- 8 …気分、目の…
- 9 冬至の日はユズ湯です
- 10 …汁。カニ…
- 11 特に良くもないが悪くもない。
…な選択をする
- 13 クリスマスケーキなどの
上に乗せます
- 15 めったになくて珍しい
- 16 …かき。…道
- 17 12月31日。おおつごり
- 19 すでに過ぎ去った時
- 20 幸…。不…。…命。
- 21 顎に当てて弾く弦楽器

二重枠をつなぎ合わせると一つの言葉が完成します。解答が解った方は右記二次元コードを読み込んで解答フォームに記入、送信ください。抽選で3名の方に図書カード(500円)を贈呈。当選者は次号掲載します。



- 19 18 16 15 14 13 12 9 6 5 4 3 2 1
- 年越し…。もり…
プレミアム切手「月に…」
- 楽しく面白い
- アニメ「ハクション大…」
- 出会いを目的とした飲み会
- 対義語は「やば」
- コルシカ島生まれのフランスの皇帝
- 時間の単位
- 対義語は「ぜいたく」
- ミカンを乗せて飾ります
- …奇。奇…
- …かごめかごめ…の正面だあれ?
- 餅をつくときに使います
- 野球やボクシングで使う革製の手袋



クロスワードパズル③
(2025年12月号掲載)
解答
「ラツカセイ」

- 当選者
- 高野 晃次 さん (高和)
 - 角田 幸司 さん (高和)

ご応募
ありがとう
ございました



初めてのゴルフ場に 新たな仲間



12.3 事業所交流会「第17回ゴルフコンペ」

【事業所対策・発】
12月3日、心地よい冬晴れのもと初めて栃木県にある「桃里(とうり)カントリー倶楽部」を会場にゴルフコンペをおこない(参加者16人)、2事業所5人の初参加がありました。プレー後は杉並支部会館に会場を移し、表彰式&名刺交換会を開催。優勝は初参加の小櫻 貴大(たかひろ)さん(高和・解体)でした。おめでとうございます。

「とても良いゴルフ場でプレーしやすかった」「次回も必ず参加します」といった感想も聞かれ、次回は参加枠を増やして開催していきます。

土建国保のトコトコ情報



国内宿泊旅行に補助

土建国保の加入者には1年度に1回、宿泊旅行に3,000円(65歳以上は5,000円)の補助があります。申請用紙は「国保ガイド」の巻末か、杉並支部のホームページからもダウンロードできます。75歳以上の組合員と配偶者には、どけん共済から宿泊旅行補助があります(杉並支部HPからダウンロード可)。



第3回 杉並写真コンクール 入選作品

第3回目となる「杉並写真コンクール」を開催、応募総数58点(①組合活動12点・②スナップ20点・③風景26点)のなかから選ばれた「入選作品」の紹介です。ご応募いただいたみなさん、ありがとうございました。

組合活動の部



工作教室

亀島 周さん(浜福)

なんといっても子どもと大人の表情と動作がいい。うまいタイミングでシャッターを切りました。子どもの真剣な眼差しが好奇心旺盛さを伝えています。

特選

事業所交流キス釣り大会

樋口 三春さん(浜福)

船や海、乗船員など情報がたくさんあり交流会の楽しさが伝わってきます。そんな状況の中でも釣れたことは楽しさが倍増したでしょう。



皆んなでハガキ書き

栗林 弘行さん(中央)

分会センターの雑然とした感じがすごくある。ただハガキを書くだけでなく和気あいあいとした仲間たちの雰囲気も伝わってきます。

入選

審査を終えて
審査員・写真家 尾辻 弥寿雄さん



応募作品はそれぞれにバラエティーがあり楽しい審査となりました。入選した作品はすばらしいものばかりでした。ただ、同一作者の作品が各部門とも複数で残り、レベルの差が顕著に現れました。これは、投稿者と作品数が増えることで解決していきます。さらに全体のレベルも上がっていくでしょう。入選者の作品はどれも見ごたえのある作品ばかりでした。

「組合活動の部」の準特選作品はありませんでした

風景の部



夕焼け

遠藤 義男さん(高和)

自然現象である夕焼けと人工物である街並みがうまく合致して美しい光景を作り出しました。建物や自販機、車や人物なども効果的で、人々の生活感が見える写真です。

入選



これもダイヤモンド富士?

大島 修一さん(井荻)

太陽と富士山のバランスが不思議です。太陽がこれだけ大きくと単純に美しい夕焼けというだけでなく、得体の知れない何かを想像します。横になびく雲も効果的です。

入選



世界遺産ホイアン旧市街

奥村 研一さん(直属)

街の夜景と船の明かりに、水面から見あって舟遊びの醍醐味を出しています。デジタルは暗い所に強いので、提燈の明かりでも舟上の人物までもしっかりと写り込みました。

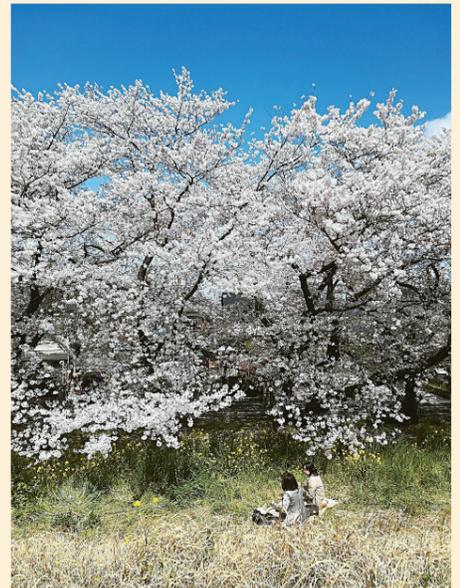
準特選

春色に囲まれて

清水 淳さん(阿佐谷)

満開の桜はみなさん撮りますが、その中でもかなりの秀作です。何と言っても桜と人物のバランスがすごくよく、春を楽しんでいる様子が画面一杯に広がっています。桜の木の両サイドを思いきり切った画面構成が生まれました。

特選



スナップの部



特選

兄妹でよーいどん!

村松 幸さん(直属)

走るスポーツの撮影の基本的なカメラポジションです。コーナーの曲がり角で構えることで人物のスピード感が出ます。体が斜めになり人物の顔もしっかり見え、迫力ある写真となりました。横に写る影も空間を埋め効果を上げました。



カマキリドライブ

河原井 優樹さん(泉南)

電車と踏切という都会的な状況に、カマキリという自然界の昆虫と一緒に写し込めたことで、面白味が出ました。カマキリも一緒にドライブしたかったのでしょう。

準特選

入選

日曜日の昼寝

山根 匡枝さん(富士見)

日焼けでなく焼けではないかと思うほどの色の黒さが、真夏の雰囲気を出しています。本当に昼寝なのかという疑問が付くほどです。



入選

未来のゴッホ?

村松 直実さん(西荻)

好奇心だらけで、ボクもどこに描こうかと迷っている様子がとてもいいです。何かの扉のようですからこの後叱られないのかと気になるほどです。考え込んでいる間がいい。

